

各位

2020年3月12日
株式会社ウィルズ

電子議決権行使プラットフォームの利用促進を目的とした取組みのお知らせ
～保有株式数に応じた電子議決権行使に対する株主アクションポイントの付与～

株式会社ウィルズ(本社：東京都港区、代表取締役社長：杉本光生、以下「当社」)は、当社第16回定時株主総会において、ブロックチェーン技術を活用した電子議決権の行使プラットフォーム(WILLsVote)を通じて、電子議決権の行使を受け付け、株主の保有株式数に応じた株主アクションポイントの付与を実施いたします。

1、株主アクションポイントについて

株主優待ポイントとは異なり、株主総会における電子議決権行使や企業アンケートへの回答等の株主のアクションに対してポイントを付与する仕組みです。

当社は、保有株式数や保有年数に応じた株主優待ポイントの付与を行う仕組みを上場企業へ提供してまいりました(「プレミアム優待倶楽部」)が、これは、中長期的かつ安定的に上場企業の株式を保有いただくことを企図したものです。

一方、株主アクションポイントは、近年の個人株主持株比率・議決権行使率の低下に鑑み、個人株主を活性化させ、電子化を促進させる仕組みです。

(※)「株主アクションポイント」:

株主アクションポイントは、株主優待ポイントとは異なり、株主総会における電子議決権行使や企業アンケートへの回答等の株主のアクションに対してポイントを付与する仕組みです。このポイントは、他の「プレミアム優待倶楽部」を導入する企業の株主優待ポイントと合算が可能な共通株主優待コイン「WILLsCoin」と交換いただくことが可能です。

2、株主アクションポイントの具体的内容

当社第16回定時株主総会で「ウィルズプレミアム優待倶楽部」を通じ、電子議決権を行使いただいた株主へ下記ポイント表に基づき、株主アクションポイントを進呈します。

保有株式数	進呈アクションポイント数
100～499株	500ポイント
500～999株	1,000ポイント
1,000～9,999株	1,500ポイント
10,000株以上	2,000ポイント

※株主アクションポイントは、当社2019年12月期定時株主総会にて「ウィルズプレミアム優待倶楽部」を通じて電子議決権行使をしていただいた方に進呈いたします。

※株主アクションポイントの有効期限は、2021年3月31日までです。

3、株主アクションポイント制度の背景

株主アクションポイントは、「プレミアム優待倶楽部」への株主の会員登録(=電子化)を促し、議決権行使プロセスを簡素化、議決権行使の活性化に寄与する仕組みです。株主の電子化により、招集通知書等の株主への郵送を廃止し、同書類の印刷や郵送にかかる費用を削減することを目的としております。

当社調べでは、招集通知書の印刷や郵送等に関して、上場企業全体で約500億円もの費用がかかっております。本件は、上場企業におけるコスト削減を達成するばかりでなく、環境負荷を低減させる効果もあると考えております。

なお、2019年の臨時国会では、「企業と株主の対話促進、株主総会プロセスの電子化」を目的として、会社法改正案が可決されました。中でも株主総会プロセスの電子化促進については、経済産業省が主導して推進してきた重要な政策です。従来の会社法法制上も株主の事前の個別承諾による株主総会関係書類の電子提供制度がありましたが、株主における利用メリットが薄く、同制度の利用率は依然として低い状況となっております。したがって、多くの上場企業では、従来通り、株主に対して個別に招集通知書及び関連書類を郵送しているのが現状です。

引き続き、当社は、成長戦略の一内容として、株主の電子化や株主総会プロセスの電子化推進に邁進してまいります。

■ 「ウィルズプレミアム優待倶楽部」 ログイン後 TOP 画面（株主優待ではありません）



以上

◆株式会社ウィルズについて

株式会社ウィルズ(英名：WILLS Inc.)は、国内のべ 600 社の上場企業に、国内外機関投資家及び個人投資家を対象としたマーケティングプラットフォームを提供しております。

ブロックチェーン技術を活用した株主優待共通コイン（WILLSCoin）と電子議決権行使プラットフォーム（WILLSVote）を通して、金融市場と上場企業の対話を促進し、顧客企業の企業価値最大化を目指します。弊社事業の詳細は、次のウェブサイトをご参照下さい。（<https://www.wills-net.co.jp/>）

【本リリースに関するお問い合わせ】

株式会社ウィルズ 経営企画室ディレクター 伊藤

- ・電話でのお問合せ：03-6435-8151
- ・ホームページからのお問合せ：<https://www.wills-net.co.jp/contact/index.php>